

一人ひとりの夢・思いを大切に

# SSKO しなぷくニュース

編集 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1  
 電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.org/> E-mail [info@shinafuku.org](mailto:info@shinafuku.org)



- 目次**
- (一) ちうんじ
  - (二) 各事業所事業報告
  - (三) " "
  - (四) " "
  - (五) " "
  - (六) 寄付一覧
  - (七) 法人会計貸借対照表  
収支計算書
  - (八) 楽しいバザー  
五月祭り報告  
ピアカウンセリング

「みんなの思い」を 福島県富岡町 遠藤町長へ 品川区濱野区長より

## ちうんじ

今年の八月（予定）から約一年間をかけ、法人本部建物全体の大規模改修を実施します。昭和五十八年の開設以来二十九年、建物全体が老朽化し、諸設備が経年劣化しています。昨年度から綿密に検討を重ね、設計図を何枚も書いてきました。

今後、建物をさらに二〜三十年活用していくために、①利用者サービスマン・ケアの質的向上に向け、また利用者の障害程度の重度化に対応した介護環境や設備の整備（浴室・トイレ等）②利用者の生活環境全般の快適性の向上（食堂への水平移動化・居住スペースの拡大等）③建物・設備の老朽化に対し、給排水・衛生設備、空調換気設備などの全面改修。以上三点を実施します。

今回の工事に際し、様々な創意工夫により利用者の皆様の施設生活への影響を最小限にするべく留意してまいります。しかし、少なからず騒音や振動、建物内部の移動等大変なご負担をお掛けすることになります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

品川総合福祉センター理事 加藤久明

# 平成二十二年度 各事業所事業報告

## 法人

平成二十二年度、法人全体の重点課題として、①本部施設の大規模改修の構想から基本・実施設計の確立 ②八潮南高齢者複合施設の指定管理による運営受託準備 ③福祉工場しながわ・旗の台朝やけ（現在は鮫洲なぎさの家）建替え工事を手がけてきました。また次年度に向けた、大規模な職員採用は、精力的に求人活動をした結果、採用試験を六回実施、延べ百六十四名の応募を得て、百二名を新規採用することができました。同時に大きな課題を進めることができたのは法人全体の連携・協力体制が良好であったからだと振り返っています。

## かえで荘

平成二十二年度も引き続きサービスマン全般の改善の推進や生活環境面の向上・職員の資質向上の促進を行いました。利用者の医療依存度はより一層高くなり、医療行為が終日必要な方が増えたため、助成金を活用し、宿直看護師の導入を行いました。また、医療機関との連携を強化し、定期的な往診を導入し、通院に伴う利用者の負担軽減や利用者が安心して過ごせる生活環境となるよう努めました。サービスマンについては、職員による自己評価や東京都福祉サービスマン第三者評価を受審し、施設サービスマンにおけるサービスマン検証を行い、更なる改善に努めました。

## 中延特別養護老人ホーム

生活支援の個別化に力を注ぎました。

具体的には、食事会や出前食を一斉に実施するのではなく、希望の方を募って行いました。また、誕生会などの催しについても、ご利用者の希望に沿ってフロア毎に企画するようにしました。

清拭布の変更などを実施し、経費削減にも取り組みました。また新しく入所される方をお待たせしないような体制づくりに努めました。



園芸サークルは月に二回のお楽しみ



苗植えの時期がきました

## 八潮在宅サービスマンセンター

八潮在宅サービスマンセンターは、高齢化が進む八潮地域にあって地域のニーズにこたえるべく、新規利用者や個別な対応にも柔軟にお答えしました。稼働率は目標には至らず、昨年並みでしたが、送迎と入浴希望にどう応えていくかが課題となつていきます。通所介護計画については、生活相談員が作成し、職員全体で情報の共有に努めました。その他、マシントレーニングや配食サービスマン、介護教室等を実施し、地域の高齢者福祉の拠点となっております。



102+102=204歳！！

### 大井在宅サービスセンター

大井在宅サービスセンターでは、昨年座ったまま浴槽に入れる機器を導入いたしました。今まで入浴を希望しても湯船に入ることが出来ない方が入れるようになりました。お風呂に肩までつかるのは、気持ちがいいと喜んでいただきました。

また、毎年行っている外出行事では、一日をかけての外出ではなく、短時間のドライブを数回に分けて、ご希望のコースをお伺いしながら実施し、皆様に好評でした。

### 中延在宅サービスセンター

利用者一人ひとりの有する能力を適切にアセスメントし、利用者が主体的にサービスセンターを利用できることを常に考えながらサービス提供を行いました。

認知症対応型通所介護は、プログラムの実施スペース（小部屋）を設定して二年目となり、より中身を充実させる利用者満足につながられるよう配慮してまいりました。利用者は利用中の流れをつかむことができ、落ち着いて過ごせる状況が継続しているように感じています。

### 大井在宅介護支援センター

#### 大井第二在宅介護支援センター

昨年度も高齢者の理解を深めていただく活動のため「区民まつり」へ参加し、高齢者の疑似体験を行いました。また認知症サポーター事業の活動を通じて認知症の方への理



天気が良いのでちょっとお散歩

解を多くの方々に深めていただきました。住み慣れた地域で安心していつまでも生活できるように、様々な地域づくりの活動を続けて行きます。



### 中延在宅介護支援センター

中延在宅介護支援センターでは、地区ケア会議において近隣の民間居宅介護支援事業所のケアマネジャーにも参加いただき、配食サービスの業者と協力を得て試食会、意見交換等を実施しています。



困っている方への接し方を実践中

地域住民のニーズの状況把握に努めるとともに、地域のケアマネジャーや事業所との交流・連携を図っています。

### 八潮在宅介護支援センター

八潮在宅介護支援センターは、品川区在宅介護支援システムのの中で、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所としての三つの役割を担いました。

また、ふれあいサポート会議への参加や、認知症サポーター養成講座の開催等も行い、地域づくりにも努めました。地域の高齢者福祉の拠点となっています。



かもめ園

知的障害者  
部門日中活動  
では資源リサ

イクル、煎餅づくり、機能訓練の運動、法人内の通所施設の利用等、個人々のニーズにあったサービスの提供に留意しました。高齢化も著しく、機械浴、経管栄養等、重症化への対応に当たりました。職員の不適切な言動への苦情があり、再発防止に施設を挙げて取り組みました。

身体障害者部門では高齢化障害重度化に対応し日中活動の再編を実施しました。具体的には潜在的なニーズのあったリハビリテーションの導入をするなどで、全体で70%以上の利用者の参加がありました。また、個別性を重視し個々のニーズに合わせたグループ外出を実施し、利用者それぞれの趣向に応えることで支援の質を高められました。

福祉工場



新しい福祉工場しなぐわ

福祉工場しなぐわは、昨年度末に建替え工事が完了しました。建築中は八潮団地内の明晴学園の一部をお借りして七ヶ月間、一時移転していました。四月から新しい建物（鮫洲運動公園西側、一・二階が福祉工場しなぐわ、三階は鮫洲なぎさの家）で事業を開始しています。また、当年度から従来の知的障害者福祉法による知的障害者福祉工場から、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス就労継続支援A型へ移行しました。

今後とも継続して主要三事業（清掃・製パン・製陶）を柱に従業員の皆さんへ雇用による就労支援を行っていきます。

さつき

就労事業（軽作業、クリーニング）は、昨年の景気の低迷により、受注先からの発注が減ったことで、収入の減少が顕著となっています。しかし、それ以外での活動、生活活動（旅行、自主活動、学習会など）では、利用者個々のニーズを尊重し、計画から活動までの自主的な点を重んじて有意義な活動を展開してきました。利用者状況は、平均年齢が八号棟では、五十二歳、クリーニング作業が、四十五歳と高齢化が進んでいます。そのような状況の中、本年度も利用者の健康に留意して、安定して通所作業が出来るよう支援に務めてまいります。



2010年12月クリスマス忘年会

安定して通所作業が出来るよう支援に務めてまいります。

サンかもめ



日帰り旅行 エプソン品川にて



新体系に移行し二年目となり、ご利用者の希望する暮らしに沿った個別支援計画に基づき、生活支援を実施して参りました。リサイクルポットや数珠作り等の作業以外にも、合唱やダンス等の時間を取り入れ、レクリエーションの充実を図りました。

サンかもめの売りである学習会も定着し、自立に向け取り組んで来りました。日本財団より送迎車両、三井信託銀行より陶芸窯、善意銀行より地デジ対応テレビの寄贈があり、豊かな支援を提供する事が出来ました。

心身障害者福祉会館



一緒に…チャレンジ  
(理学療法風景)



平成二十一年四月から障害者自立支援法の新体系に移行して二年間が終了しました。引き続き、品川区の障害者福祉課との連携を図り、利用者とのニーズ実現のため、区内全体の関連資源の利用調整、適切なマネジメントに力を入れてまいります。また、会館の訓練センター機能、支援センター機能、B型センター機能の三位一体としての仕組みそのものが他事業所へ徐々に浸透してきました。

更に、取り組みの中では、訓練センター機能としての情

報提供を目的とした、他事業所のプログラム体験を大々的に実施し、利用者や家族に大きな意味を持つものとなりました。

北品川つばさの家



世話人業務を委託し、ご利用者・ご家族の協力の下、業務を進めて参りました。十一月には、東京都の指導検査を受審し、指摘があった点は区と連携し、改善に努めました。ご利用者の重度化が進み、個別支援が更に必要になっていく為、よりきめ細やかな支援を提供して参りました。

今後とも区と協力し進めて参ります。

グループホーム朝やけ

平成二十三年四月一日、「旗の台朝やけ」は、福祉工場しながわとの合築施設（東品川、鮫洲運動公園西側）に旗の台から移転、名称変更し、

「鮫洲なぎさの家」となりました。建物は三階部分、食堂、居室は全て東向きで、鮫洲運動公園を望み、朝日の中の朝食を楽しめるなど、居住環境は格段に改善されました。

また、従来のグループホーム（共同生活援助）に合わせ、ケアホーム（共同生活介護）の指定を受け、定員も四名から六名（女性）に増員し、新しいホームでの生活を始められています。

八潮中央保育園



八潮中央保育園では年齢ごとの指導計画をもとに、戸外活動と室内活動をバランスよく取り入れま



お散歩で…ふらっと八潮

した。給食では、後半より栄養バランスに優れ

た和食中心メニューへ変更していきました。一時保育では、保護者の方の通院等の他、幼稚園の夏休み期間の就労による利用が延べ二十六日ありました。地域との交流では、五歳児が八潮内幼稚園・保育園との交流の他に、八潮祭りでもキッズソランの披露、八潮学園では授業体験・給食体験など、小学校生活の雰囲気を感じていきました。今後も園児の健全な成長を第一に保育して参ります。

地域福祉課



法人の理念である「地域とともに」を実践すべく地域交流活動・福祉教育・広報活動ポランティア活動の推進などに取り組み、関係機関との連携を強化しました。

企業の就業時間内での社会貢献活動先として、かもめ園・八潮サーピスセンターでの定期活動が定着しました。今後も地域福祉力向上に努めます。

平成22年度のご寄付

皆様から、ご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

五十音順敬称略

石澤 基十郎	田原 政義	堀 つや	山口 正治
木村 幸生	根岸 順子	水野谷 育男	
鈴木 敏夫	日比 敏雄	矢部 正美	

五十音順敬称略

魚栄	シティコープ八潮浜自治会	(社福)福栄会	八潮地域センター
荏原第四地区民生委員協議会	品川区重症心身障害児(者)を守る会	地域生け花教室	八潮地域センター フェスティバル実行委員会
大井第一地区民生委員協議会	品川区知的障害者育成会	地域貢献ポイント寄付者	八潮地区防災協議会
オートクリニックサトウ	品川区母子寡婦福祉連合会	ディ・エス・スタッフ(株)	八潮地区民生委員協議会
小和田屋商店	(社福)さくら会	富士火災海上保険(株)	八潮西自治会
(株)グリーンハウス	(社福)品川区社会福祉協議会	八潮学園	八潮パトリア会
(株)品川都市整備公社	(社福)品川総合福祉センター 連合家族会	八潮五八・五九号棟自治会	八潮四号棟自治会
かもめ家族会	(社福)春光福祉会	八潮自治会連合会	八潮わかば幼稚園

貸借対照表

平成23年03月31日現在

社会福祉法人品川総合福祉センター 法人会計 (金庫会計)				(単位:円)			
資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,265,900,237	1,102,296,253	173,603,984	流動負債	438,278,098	214,296,046	223,982,052
現金預金	296,421,428	291,128,411	5,293,017	買掛金	4,467,454	2,371,209	2,096,245
債権	11,529,810	11,487,065	42,745	短期借入金	91,000,000	79,000,000	12,000,000
商品・製品	3,695,194	4,312,940	△617,746	未払金	301,067,205	187,623,251	113,443,954
貸付金	202,493,698	202,908,035	△414,337	貸与金	31,720,036	16,297,032	15,423,004
立替金	15,949,966	3,128,969	12,820,997	固定負債	112,679,228	106,282,222	6,397,006
前払金	496,628	124,973	371,655	退職給付引当金	112,679,228	106,282,222	6,397,006
短期貸付金	31,000,000	25,000,000	6,000,000	負債の部合計	548,947,324	322,578,278	226,369,046
仮払金	2,064,100	1,901,600	162,500	純資産の部			
その他の流動資産	329,000	290,000	39,000	基本金	230,000,000	230,000,000	0
固定資産	1,228,541,187	1,228,642,783	△101,596	基本金	230,000,000	230,000,000	0
基本財産	602,762,592	582,464,043	203,098,549	国庫補助金等積立金	226,256,855	206,720,896	19,535,959
建物	602,762,592	582,464,043	203,098,549	国庫補助金等積立金	226,256,855	206,720,896	19,535,959
基本財産積立資産	1,000,000	1,000,000	0	その他の積立金	298,736,621	653,629,321	△354,892,700
その他の固定資産	695,941,629	643,200,743	52,740,886	移行特別積立金	116,341,211	116,341,211	0
車両運搬具	13,212,422	14,063,427	△851,005	受託事業特別積立金	22,000,000	17,000,000	5,000,000
器具及び備品	48,447,917	38,173,911	10,274,006	人件費等積立金	21,000,000	18,000,000	3,000,000
投資有価証券	228,732,110	228,000,000	732,110	修繕積立金	21,000,000	18,000,000	3,000,000
積立資産	348,736,621	483,879,973	△135,143,352	備品等購入積立金	13,000,000	13,000,000	0
移行特別積立金	116,341,211	116,341,211	0	工資変動積立金	600,000	600,000	0
受託事業特別積立金		226,000,322	△226,000,322	設備等費積立金	6,500,000	6,500,000	0
人件費等積立金	22,000,000	17,000,000	5,000,000	減価償却積立金	26,400,000	26,400,000	0
修繕積立金	22,000,000	18,000,000	4,000,000	特別積立金	28,200,000	6,200,000	22,000,000
備品等購入積立金	13,000,000	13,000,000	0	国庫補助金等積立金	14,275,469	14,275,469	0
工資変動積立金	600,000	600,000	0	国庫補助金等積立金	11,429,980	11,429,980	0
設備等費積立金	6,500,000	6,500,000	0	施設施設・運営等積立金	81,776,000	18,776,000	63,000,000
減価償却積立金	26,400,000	26,400,000	0	職員研修基金積立金	18,000,000	18,000,000	0
特別積立金	28,200,000	6,200,000	22,000,000	次期繰越収支差額	1,367,429,864	1,182,728,267	184,701,597
国庫補助金等積立金	14,275,469	14,275,469	0	前期繰越収支差額	1,182,728,267	1,182,728,267	0
国庫補助金等積立金	11,429,980	11,429,980	0	当季繰越収支差額	185,691,597	46,582,230	139,109,367
施設施設・運営等積立金	81,776,000	18,776,000	63,000,000	純資産の部合計	2,271,465,279	2,146,453,998	125,011,281
職員研修基金積立金	18,000,000	18,000,000	0				
国庫補助金等積立金	112,679,228	106,282,222	6,397,006				
資産の部合計	2,494,441,424	2,498,234,036	△3,792,612	負債及び純資産の部合計	2,494,441,424	2,498,234,036	△3,792,612

## 事業活動収支計算書

(自) 平成 22 年 04 月 01 日 (至) 平成 23 年 03 月 31 日

社会福祉法人品川総合福祉センター  
法人合計 (全体合計)

(単位: 円)

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増 減
就労支援事業活動収支の部	収入			
	就労支援事業収入	175,485,212	173,314,382	2,170,830
	経理区分間繰入金収入	49,000	116,450	△67,450
	就労支援事業活動収入計	175,534,212	173,430,832	2,103,380
	支出			
就労支援事業支出	179,175,220	173,732,757	5,442,463	
就労支援事業活動支出計	179,175,220	173,732,757	5,442,463	
就労支援事業活動収支差額	△3,641,008	△301,925	△3,339,083	
福祉事業活動収支の部	収入			
	自立支援費等収入	677,637,817	613,541,494	64,096,323
	介護保険収入	1,053,632,298	1,009,451,535	14,180,763
	補助事業等収入	17,981,768	10,317,153	7,664,615
	利用料収入	3,115,694	3,157,057	△41,363
	運営費収入	95,109,470	91,382,700	3,726,770
	経常経費補助金収入	602,725,301	601,561,340	1,163,961
	寄附金収入	23,577,332	3,588,491	19,988,841
	雑収入	47,830,738	54,667,427	△6,836,689
	引当金戻入	6,168,068	12,069,704	△5,901,636
	国庫補助金等特別積立金取崩額	27,863,243	26,503,046	1,360,197
	福祉事業活動収入計	2,555,641,729	2,456,239,947	99,401,782
	支出			
	人件費支出	1,492,915,148	1,509,707,206	△16,792,058
	事務費支出	597,177,149	537,793,042	59,384,107
	事業費支出	302,483,801	300,466,457	2,017,344
	減価償却費	55,156,654	53,461,490	1,695,164
	徴収不能額	10,373	109,127	△98,754
	引当金繰入	13,398,006	13,867,252	△469,246
	福祉事業活動支出計	2,461,141,131	2,415,404,574	45,736,557
福祉事業活動収支差額	94,500,598	40,835,373	53,665,225	
事業活動外収支の部	収入			
受取利息配当金収入	1,756,510	1,844,302	△87,792	
経理区分間繰入金収入	267,311,822	78,797,450	188,514,372	
事業活動外収入計	269,068,332	80,641,752	188,426,580	
支出				
経理区分間繰入金支出	267,360,822	78,913,900	188,446,922	
雑損失		80,000	△80,000	
事業活動外支出計	267,360,822	78,993,900	188,366,922	
事業活動外収支差額	1,707,510	1,647,852	59,658	
経常収支差額	92,567,100	42,181,300	50,385,800	
特別収支の部	収入			
	施設整備等補助金収入	63,176,000	274,134	62,901,866
	施設整備等寄附金収入	145,000		145,000
	固定資産売却益	4		4
	その他の特別収入		1,697,225	△1,697,225
	特別収入計	63,321,004	1,971,359	61,349,645
	支出			
	固定資産売却損及び処分損	494,149	1,001,420	△507,271
	国庫補助金等特別積立金積立額	63,321,000	274,134	63,046,866
	その他の特別損失	19,491,000	2,294,795	17,196,205
特別支出計	83,306,149	3,570,349	79,735,800	
特別収支差額	△19,985,145	△1,598,990	△18,386,155	
当期活動収支差額	72,581,955	40,582,310	31,999,645	
当期利益	72,581,955	40,582,310	31,999,645	
繰越活動収支差額の部	前期末繰越活動収支差額	1,180,776,587	1,140,194,277	40,582,310
	当期末繰越活動収支差額	1,253,358,542	1,180,776,587	72,581,955
	その他の積立金取崩額	209,081,322		209,081,322
	その他の積立金積立額	95,000,000		95,000,000
	次期繰越活動収支差額	1,367,439,864	1,180,776,587	186,663,277



一生懸命にメッセージを

五月二十二日(日)八潮五丁目の品川総合福祉センター本部にて、東日本大震災支援イベントとして、楽しいバザー・五月祭りを開催いたしました。大震災以来「私たちには何ができるのか」「できることから、やっつけていこう」と世界中で声を掛け合っています。

## 支援イベント



## 楽しいバザー 五月祭り



がんばろう 日本 熱い思いを込めて・・・

ここ八潮からも、「がんばろう 日本」とスクラムを組んで熱い思いを送りました。支援コーナーでは、気仙沼直送のわかめ、フカヒレスープ、観光協会ストラップ、福島産きゅうりの直売と男山酒造地酒のオークションなどを行いました。たくさんのお客様のご協力のもと、バザー収益金全額を義援金として送らせていただきました。ここにこそ報告いたします。

バザー収益金  
八十万九千七百二十八円  
全額五月二十四日に、  
品川区長より  
福島真富岡町に寄付

## ピアカウンセリング

「ピアカウンセリング」って何だろう? その意味をご存知ですか? 「ピア」とは仲間・対等な・同じ背景を持つ人同士という意味があります。ピアカウンセリングは、嬉しかったこと、楽しかったこと、日頃感じていたこと、悩んでいることなどを、自分一人の中に閉じ込めないで、障害のある人同士が対等な立場でお話したり話を聞いたりする場です。同じ障害のピアカウンセラーが同じ悩みや体験・想いを活かし家族や専門職とは違った、障害当事者ならではの対応が受けられます。

第一木曜日  
十三時半～十六時  
視覚障害者  
肢体不自由者  
知的障害者福祉司

### 第三水曜日

十三時半～十六時  
身体障害者・聴覚障害者  
身体障害者福祉司  
場所は品川区立心身障害者福祉会館一階相談室となります。  
(お問い合わせ先)

品川区障害者生活支援センター  
(五七五〇・四九九五)



ピアカウンセリング中

### あとがき

今年の夏は、皆さんも節電を心がけてみてはいかがですか。LED電球にかえ、こまめに消すようにしましょう。窓に断熱シートを貼って室内の温度を低く保ったうえで、冷房の設定温度を一度高くするのも効果的です(きむきむ)